

Men's Ex

シック&HowTo誌

メンズ エクストラ

APRIL 1998 **4**

編集部が 現地で探した憧れの逸品

イタリア直送品
誌上ショッピング

スーツは最強のビジネスツールである

できる男は
スーツが違う

最新Vゾーン50の傾向

ファッション感覚で考えた大人のインテリア
「気持ちのいいスペース」を作る

自前の鯛を料理する

大人たちのバイクが気になる
二輪でカッコよくいこう

紳士服から時計、眼鏡、文房具まで

洒落者こだわりの老舗25店

【別冊付録】エルメネジルド ゼニアの世界

ミラノで極上の一枚を仕立てる

イタリアに行ったならば、まずシャツを一枚仕立ててみるはどうか。ご存じの通り、この国はシャツ天国。そのアルティジャーノの超絶な技を、自分のためだけに生かしてもらおうのだ。ここに紹介するミラノの『シニスカルキ』は、スーツでいうところの『カラチエニ』に値する仕立て屋。仮縫いは必ず2回行い、見事なまでに体にフィットさせる。手間と採算を度外視したこの姿勢こそ、アルティジャーノの矜持であろう。

仕立てたのは……

シニスカルキ

「この店に何がすごい？」

- 手間を度外視し、仮縫いは必ず2回行い。
- 超一流のシャツ生地を軒並み揃えている。
- 採寸のとり方が、桁外れに正確。

アレッサンドロ・シニスカルキ

創業者の父、ヴィットリオから、ほぼ完全にこの仕事を受け継ぐ。業界最年少の35歳だが、すでにキャリアは17年。



SINISCALCHI
Via Carlo Porta, 1 MILANO
☎02-29003365

カルロ・リーバ使用で総額50万リラ

「シニスカルキ」はジェノヴァの「フィッロ」に唯一対抗できるカミチェリア。であるのに、生地代+仕立て代で一律50万リラはある意味で破格といえよう。

肉厚白蝶貝ボタンを鳥足縫いで

肉厚の白蝶貝が、手縫いでしかなし得ない鳥足縫いで付けられる。当然ボタンホールも手かがりだが、まるで機械のように正確。

カフスのサイズは左右で異なる

腕時計をする側のカフスは若干太めに作られるので、採寸の際は外さないようにした方がよろしい。形はお好み次第。



↑シニスカルキの超絶技を示す刺繍。僅か1cmほどのモチーフでも、まるで絵画のように仕上がる。因みにこれは某貴族の紋章。



←店舗の奥にはご覧のような工房が併設されている。縫い子は常時5~6人ほど、時にはアレッサンドロ氏も自ら針を持つ。

襟のデザインは個々の体型によって決定

襟のデザインや長さは、体型、特に鎖骨の位置によって決定される。無論、自分好みにすることも可。

超一流どころの生地が軒並み揃う

シニスカルキで使用される生地はどれも超一流どころのもの。これはカルロ・リーバの180番手。



●オーダーの流れ●

1 → まずは生地を選ぶ。自分のワードローブを考慮したうえで、最適なものを見つけた。

2 ←そして採寸。左右の肩の下がり具合、腕時計をどちらにするか、猫背か否かなどをここで詳細にチェック。

3 →襟やカフスの形について好みを聞かれる。特にない場合は、彼に任せたい。

4 ←1回目の仮縫い。綿のダミー生地で行われる。直しを入れる箇所には、鉛筆でその旨が直接書き込まれていく。

5 →オーダー表には各箇所、サイズなどを綿密に記載。使用生地、切れ端も添付する。

6 ←2回目の仮縫い。実際使用する生地で行われる。ここで最終的な調整をしたあと、約2週間完成となる。